Ver.1.2

SHOFU INC.

本ソフトの概要

本ソフトはデジタル口腔撮影装置 「アイスペシャル C－Ⅱ」専用の画像振り分けソフトです。
本ソフトを使用することで、画像をパソコンに転送する際に、撮影時に入力した患者情報ごとに自動的に振り分けて整理することができます。

1．撮影した画像のパソコンへの転送

画像のパソコンへの転送はつぎの 3 種類の方法が可能です。

SD カードから転送する場合

パソコンの SD カードスロット（差し込み口）に SD カードを挿入することで、SureFile への転送が開始され、自動的に画像の整理が行われます。SD カードスロットが搭載されていない場合は、SD カードリーダーなどを利用してください。

指定フォルダから転送する場合

パソコンの指定フォルダに画像を保存することで、SureFile への転送が開始されます。メールなどで添付されてきた画像をこの指定フォルダに保存すれば、あとは自動的に画像の整理が行われます。

Eye-Fi カードを利用して転送する場合

Eye-Fi カード※（無線 LAN 機能を内蔵した SD カード）の保存先を指定フォルダに設定すれば、Eye-Fi カードから画像が転送されてくるたびに SureFile への転送が開始され、自動的に画像の整理が行われます。

※Eye-Fi Pro X2 をご使用ください。それ以外の Eye-Fi カードや他社製の無線 LAN 内蔵 SD カードでは SureFile との連携が行えない場合があります。

- Eye-Fi カードをご使用の際は、Eye-Fi カードの取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に従ってご使用ください。
- Eye-Fi カードは使用する国や地域の法律に従ってお使いください。

2． 画像の自動振り分け

パソコンに画像が転送されると、自動的に患者さまごとのフォルダに画像が振り分けられます。 さらに患者フォルダ内で日付ごとのサブフォルダに保存するなどの設定も可能です。

画像振り分けのイメージ

転送元（リムーバブルディスク、指定フォルダ）

PICT 0001.JPG
ID:7979
氏名:松風 太郎
2013/07/01 09:23:22

PICT 0002.JPG
ID: 7979
氏名:松風 太郎
2013/07/01 09:25:42

PICT 0003.JPG
ID:883
氏名:
2013/07/01 17:29:06

PICT 0004.JPG
ID: 883
氏名:
2013/07/12 16:05:11

PICT 0005.JPG
ID:
氏名:
2013/07/12 16:54:34

転送先フォルダ

患者 ID は 0 で詰めて 10 桁で表示されます

QR コードから入力した場合は氏名も付与されます
※QR コードを作成するソフトは現在開発中です。

0000007979 松風 太郎
2013-07-01 092322_Std.JPG
2013-07-01 092542_Whit.JPG

テンキーから入力した場合は患者 ID のみが付与されます

0000000883

オプション設定で日付ごとのサブフォルダに保存することもできます

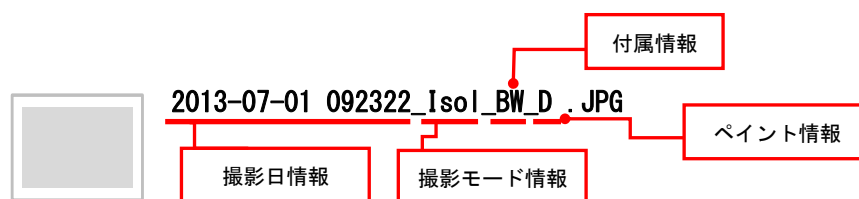
20130701
2013-07-01 172906_Std.JPG
20130712
2013-07-12 160511_Std.JPG

No Information
患者情報が無い画像はこのフォルダに保存されます
2013-07-12 165434_Std.JPG

i 参考

・ 自動振り分けは、あらかじめアイスペシャル C-Ⅱで患者情報を入力して撮影した画像に限ります。
・ 患者情報を入力せずに撮影した画像は「No Information」フォルダに転送されます。
・ アイスペシャル C-Ⅱ以外で撮影した画像は転送されません。

3． ファイル名の変更

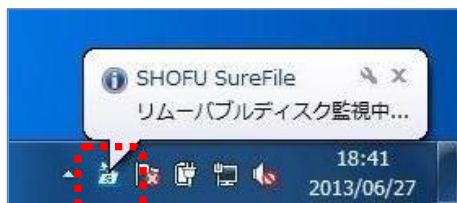
下図のように、撮影日時・撮影モードおよびその他の付属情報に応じたファイル名に変更して保存します。

※（例） シェード抽出モードで撮影した画像

本ソフトの起動方法

Windows の場合

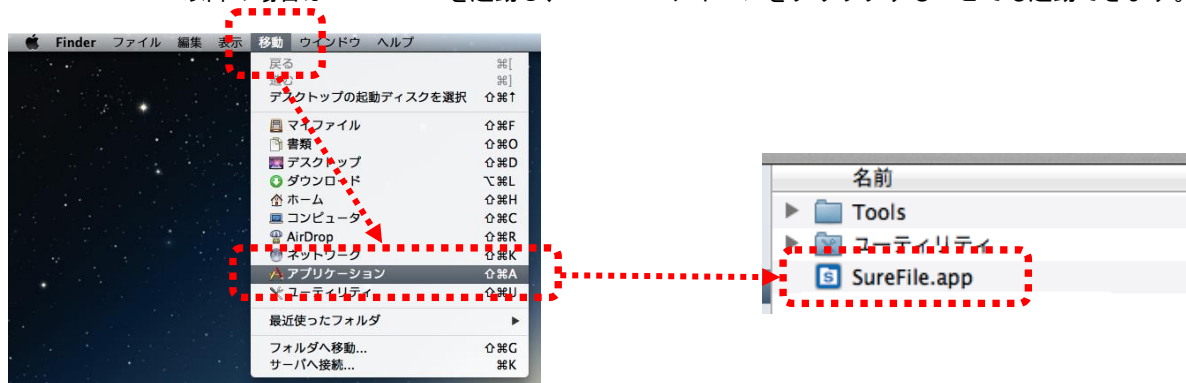
デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。

（スタートメニューから、「すべてのプログラム」→「SHOFU」→「SureFile」を選択することでも起動できます。）

タスクトレイに以下のアイコンが表示されていることを確認します。

※画面は Windows7 のものです

Mac の場合

デスクトップから「移動」→「アプリケーション」を選択し、アプリケーションフォルダが開いたら「SureFile」アイコンをダブルクリックします（Dock のアプリケーションフォルダをクリックすることでも、アプリケーションフォルダを開くことができます）。

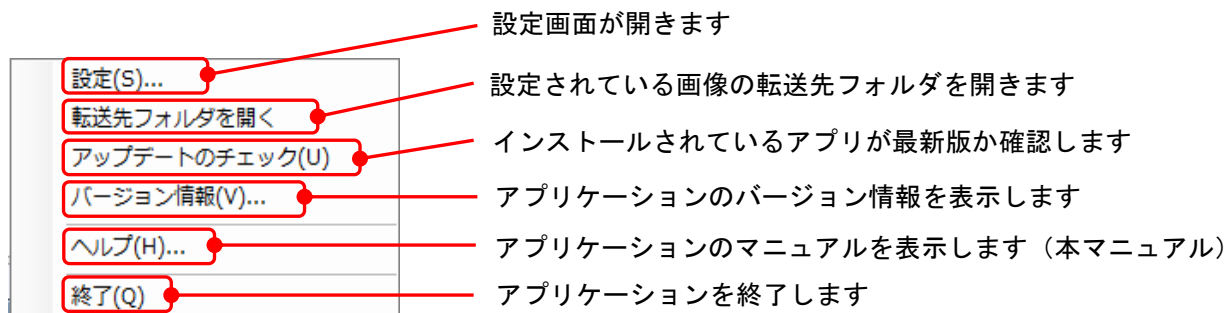
OS X Lion10.7 以降の場合は LaunchPad を起動し、SureFile アイコンをクリックすることでも起動できます。

ステータスバーに以下のアイコンが表示されていることを確認します。

参考

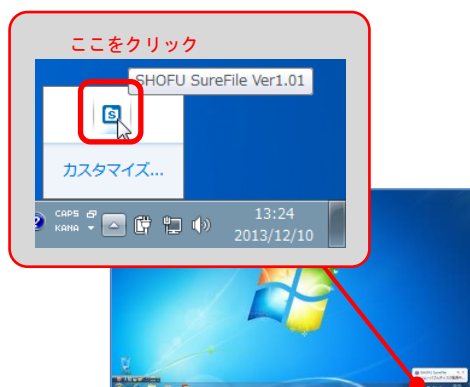
・　「設定」から、起動時に SureFile を自動的に起動するように設定することができます。

使用方法

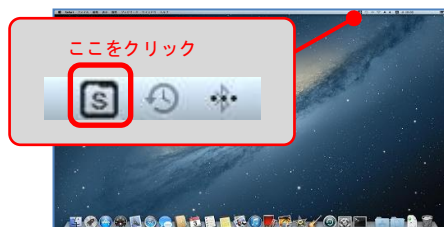
ここでは本ソフトウェアの機能について説明します。

メニュー画面

メニューの表示方法

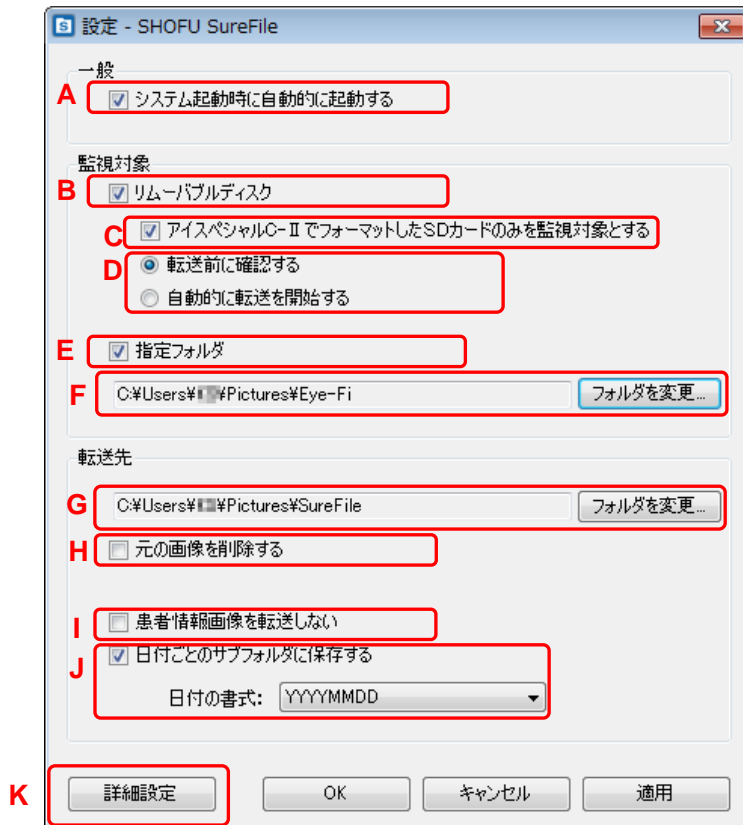
Windows PC の場合

タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニュー画面が表示されます。

画面は Windows7 のものです

MacPC の場合

メニューバーのアイコンをクリックするとメニュー画面が表示されます。

設定

本ソフトの基本設定及び画像の振り分け条件の設定を行います。
各機能を有効にするにはチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

【 設定画面 】

※画面は Windows 版のものです

一般		
A	パソコン起動時に本ソフトも自動的に起動します。	
監視対象		
B	**SD カードから画像を転送する場合**はチェックします。	
	C	アイスペシャル C-Ⅱでフォーマットした SD カードのみを監視対象にしたい場合にチェックします。 この機能を有効にしておくと、アイスペシャル C-Ⅱ以外で使用している SD カードや USB メモリなどの他のリムーバブルディスクを挿入しても取り込みが開始されません。 ［注記］Mac 版ではつねにこの機能が有効になっており、選択することができません。
	D	画像転送前に確認するか、確認せずに自動的に転送を開始するか選択します。
E	**指定フォルダを利用して画像を転送する場合**はチェックします。	
	F	監視対象としたいフォルダを設定します。 Eye-Fi カードからパソコンに送られてきた画像を本ソフトに転送したいときは、Eye-Fi Center で設定された画像の保存先を指定してください。 ［注記］指定フォルダ以下のすべてのフォルダが監視対象になります。

転送先	
G	転送先のフォルダを指定します。 ※振り分けられた画像が保存されるフォルダです。
H	SD カード/指定フォルダ内に保存されていた画像を転送完了後、削除します。 ［注記］Eye-Fi カードから無線 LAN を通して画像が送られてきた場合、Eye-Fi カードの中身を削除することはできません。
I	右図のような患者情報画像を転送しないようにします。 2013.06.24 12:35 ID:11111 患者情報画像
J	患者フォルダ内に、日付ごとのサブフォルダが作成されます。 日付の書式はドロップダウンリストから 12 種類を選択できます。
K	フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

注記

指定フォルダと転送先フォルダの設定について

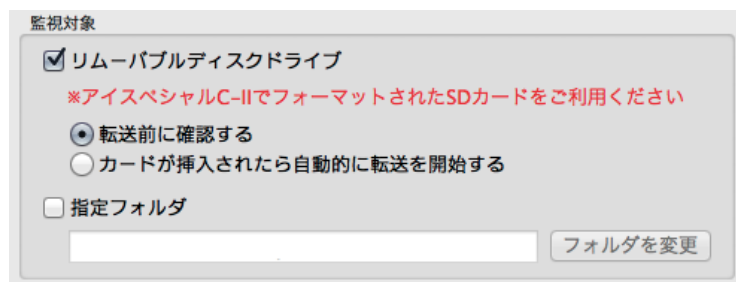
転送先フォルダは、初期の設定ではパソコンのマイピクチャ（ピクチャ）内の［SureFile］フォルダ内に自動的に設定されます。

各フォルダの設定は変更することが可能ですが、監視対象の指定フォルダ内に転送先フォルダを指定することはできません。

※指定するとエラーが表示されます。転送先フォルダの保存場所を変更してください。

参考

Mac 版の機能制限について

Mac 版ではリムーバブルディスクを監視対象とする場合、必ずアイスペシャル C-Ⅱでフォーマットされた SD カードのみを監視対象とする仕様になっております。

Mac 版の設定画面

詳細設定

フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

【詳細設定画面】

A	患者 ID 番号ごとのフォルダを作成する際に、0 で埋めて桁数をそろえる機能の ON/OFF を設定します。 また、表示桁数を変更することもできます。
B	患者フォルダを撮影したカメラごとに分けて保存します。 SureFile C0000001 0000000001 0000000003 C0000002 0000000001 カメラのシリアルナンバー 患者 ID 番号 ※複数の歯科医院から画像を受け取るラボでの使用を想定した機能です。
C	患者フォルダを 1000 件ごとに分けて保存します。 SureFile $0000 0000000001 0000000999 $1000 0000001000 0000001999 00100-1234 00 00_1236 No Information 患者 ID 番号 0～999 までが保存されるフォルダ 患者 ID 番号 1000～1999 までが保存されるフォルダ 患者 ID 番号に数字以外が含まれている場合は、1000 件ごとに分けて保存されません。 ※患者 ID 番号に数字以外が含まれている場合は、1000 件ごとに分けて保存されません。

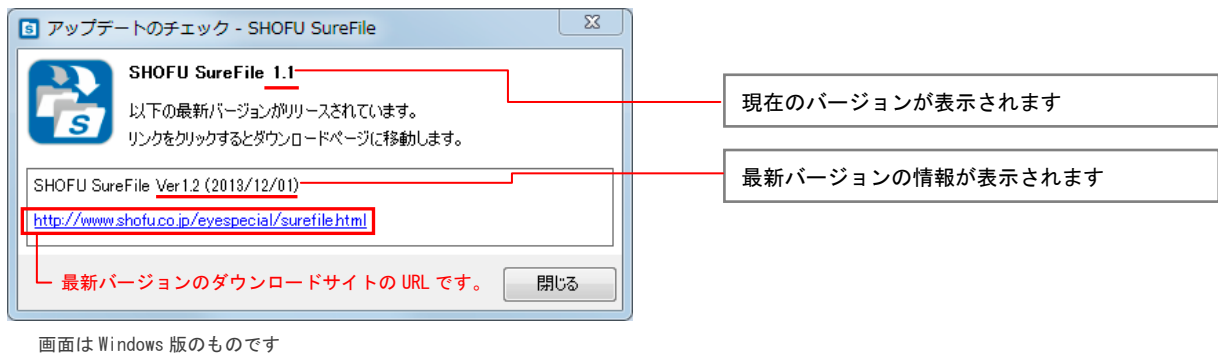
注記

・詳細設定で ON/OFF した機能は、設定画面で[OK]または[適用]を選択した時点で有効となります。
本画面を閉じた時点では有効になっていませんのでご注意ください。
・詳細設定で後から設定を変更しても、変更前に取り込み済みのフォルダについては影響を及ぼしません。
詳細設定の変更は導入直後に一度だけ行うことをお勧めします。

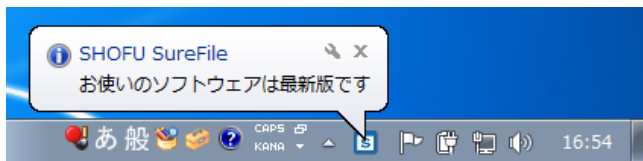
アップデートのチェック

現在ご使用中のソフトウェアが最新のバージョンであるかをインターネットに接続して確認を行います。最新のバージョンがリリースされている場合は、表示された URL をクリックすることでダウンロードサイトに移動し、ソフトウェアをダウンロードすることができます。

最新のバージョンがリリースされている場合

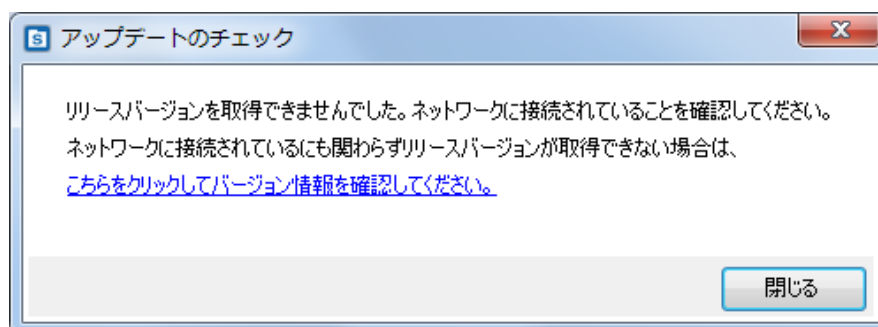
下図のようなウィンドウが表示されます。

画面は Windows 版のものです

すでに最新のバージョンをお使いの場合

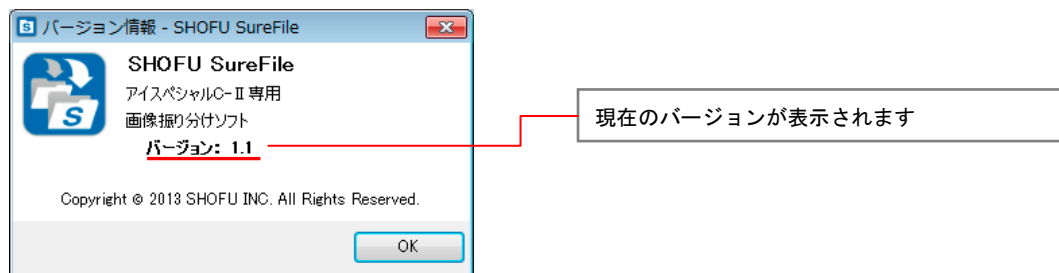
下図のように「お使いのソフトウェアは最新版です」というメッセージが表示されます。

画面は Windows 版のものです

 注記

アップデートのチェックを行うには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

インターネットに接続されていない場合、下図のようなメッセージが表示されます。

画面は Windows 版のものです

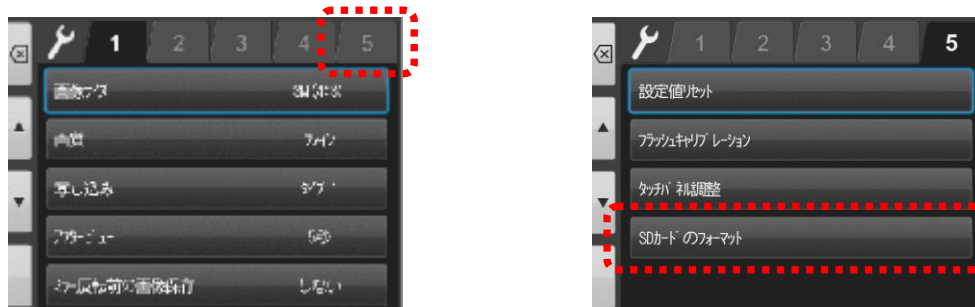
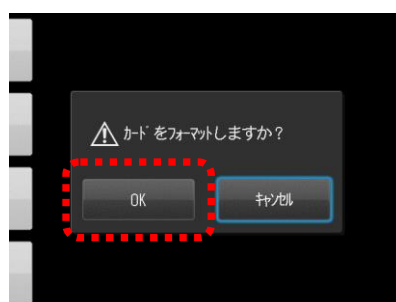
バージョン情報

現在インストールされているソフトウェアの情報を表示します。

画面は Windows 版のものです

参考情報

アイスペシャル C-Ⅱで SD カードをフォーマットする方法

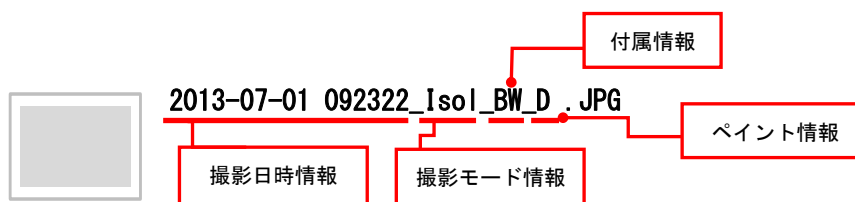
1． 撮影モードまたは再生モードからMENU（MENU キー）を押し、さらに（F4 キー）を押します。

2． タブ５を選択し、その後「SD カードのフォーマット」を選択します。

3．「カードをフォーマットしますか？」というメッセージが表示されたら「OK」を選択します。

SD カードのフォーマットが完全に終了したことを確認してから、SD カードを取り出してください。

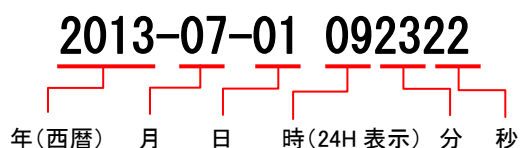
 注記

SD カードをフォーマットすることで、SD カード内の画像データはすべて消去されます。必要ならばフォーマットを行う前にパソコンなどへ画像をバックアップしてください。

ファイルの命名規則について

本ソフトで転送された画像ファイルは、下図のように撮影日時・撮影モードおよびその他の付属情報に応じたファイル名に変更して保存されます。

※(例) シェード抽出モードで撮影した画像

撮影日時情報

画像を撮影した日時がファイル名に表示されます。

撮影モード情報

選択した撮影モード及び患者情報により、以下の情報がファイル名に表示されます。

付加される文字列	説明
Std	標準モードで撮影された画像
Srg	オペモードで撮影された画像
Mirr	ミラーモードで撮影された画像
Face	顔貌モードで撮影された画像
LowG	低反射モードで撮影された画像
Whit	ホワイトニングモードで撮影された画像
Tmac	テレマクロモードで撮影された画像
Isol	シェード抽出モードで撮影された画像
ID	アイスペシャル C-Ⅱの F3(患者情報)からテンキーや QR コードによって入力された患者情報画像
Name	アイスペシャル C-Ⅱの F3(患者情報)から氏名を撮影した画像

付属情報

反転した画像とシェード抽出で撮影した画像に表示される情報です。

付加される文字列	説明
FLP	ミラー反転（左右反転、上下反転）された画像
COL	シェード抽出モードの 1 枚目（抽出前）の画像
BW	シェード抽出モードの 2 枚目（抽出後）の画像

ペイント情報

ペイントをした画像に表示される情報です。

付加される文字列	説明
D	ペイント機能で編集した画像

仕様

アイスペシャル C-Ⅱ専用　画像振り分けソフト

・動作環境

対応 OS

Microsoft	WindowsXP (SP3)、Windows Vista、Windows7、Windows 8
Apple	Mac OS X Snow Leopard(10.6)、OS X Lion(10.7)、OS X Mountain Lion(10.8)、Mac OS X Mavericks(10.9)

 注記

本ソフトウェアはアイスペシャル C-Ⅱ以外で撮影された画像ではご利用いただけません。